

Doc. No.: NR060131-2

2006年1月31日

ドイツ・CGS社と色変換エンジンの技術提携に合意 ～カラーブルーフィングシステム「LabProof SE」を開発、販売～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：垣内 永次)は、CGS Publishing Technologies International GmbH(本社：ドイツ・ハインブルグ/社長：Andreas Kämmerer)とカラーブルーフィングに使用する色変換エンジンの技術提携を図ることで合意し、この提携により新たに開発したカラーブルーフィングシステム「LabProof SE(ラブブルーフ SE)」を、2006年2月から販売します。

「LabProof SE」は、プリンターからのチャート出力と測色を繰り返すことにより、自動的にカラーマッピングテーブルを作成し、独自の色変換エンジンにより最終印刷物に極めて近いカラーブルーフを出力します。また、PANTONE、DICのカラーガイドを搭載し、インクジェットプリンターの発色を最大限に生かした特色のシミュレーションを実現しています。

当社は、ワークフローシステム「Trueflow 3」を中核にプロセスオートメーションの実現を目指しており、2006年の春には「Trueflow 3」と「LabProof SE」をJDFによりオンライン接続し、プリンターへの出力指示やステータス確認など、さまざまな連携を図る予定です。

* 製品名の“SE”は“Suite Edition”を略したもので、今後当社が展開する「Trueflownet」の製品群を表しています。

* 「LabProof SE」は、2006年2月1日から3日まで東京・池袋「サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO」で開催される「PAGE2006」のメディアテクノロジー ジャパン/大日本スクリーンブースで紹介し、デモンストレーションを行います。

■ CGS社 (CGS Publishing Technologies International GmbH)

1985年設立。ドイツ・ハインブルグに本社を置く、プロフェッショナルユースの生産支援システムやカラーブルーフィングシステムを開発・販売する、世界的カンパニー。

URL : <http://www.cgs.de/>



LabProof SE

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 営業統轄部 営業企画部 営業企画課：
Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608 〒 602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<販売開始予定>

2006年2月15日

<年間販売予定数>

300本

<国内希望販売価格(消費税別)>

750,000円

<動作環境>

OS : Windows XP Professional

プラットフォーム : WI-X クライアントモデル推奨

(CPU : Pentium4/3GHz相当以上、メモリ : 1Gバイト以上)

対象プリンター : EPSON PX-9500/7500、PX-10000、PX-9000/7000

Canon W8400/6400/8200PG/6200

その他のメーカーのプリンターは、GDIドライバーにより接続可能。

* Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。その他、文中に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。